

令和元年度 第1回 高山市児童生徒等の重大事態調査委員会 議事録

【日 時】 令和2年3月25日（水） 13時30分～15時30分

【場 所】 高山市役所 4階 特別会議室

【出席者】（構成員） 委員長 橋本 治
副委員長 鈴木 壯
委 員 武藤 玲央奈
〃 四衢 崇
〃 目加田 信剛

（構成員以外の出席者）

教育長、企画部長、教育委員会事務局長、子育て支援課長、教育総務課長、学校教育課長、企画係長、学校教育課職員、企画課職員

【会議内容（次第）】

- ・開会
- ・委員長挨拶
- ・委員及び出席者紹介
- ・議題
 - （1）高山市におけるいじめ等の状況について
 - ・児童生徒等の状況報告（非公開）資料1-1・資料1-2
 - ・いじめ問題の実態について 資料2
 - （2）岐阜市の事例から学ぶ重大事態の未然防止と行政の役割について 資料3
- ・閉会

【議事要旨】

- 開会
- 議題 ※出席者の都合により順序を変更して実施
 - （2）岐阜市の事例から学ぶ重大事態の未然防止と行政の役割について 資料3
（橋本委員長より資料3に基づき説明）

（質疑）

武藤委員

私は岐阜市教育委員会のメンバーであり当事者になりますので意見を言える立場ではないのですが、報告のあった事案は我々も非常に重く受けとめ、橋本先生からの貴重な提言をいただき、それに基づいた対策をいくつか講じている段階です。ただ決して岐阜市だけの問題ではなく、全国どこの自治体でも情報を共有し認識する必要があります。岐阜市の

教育公表会において多くの方から、この問題を自分のこととしてとらえるという話がありました。子ども達は知っていたのに、教員に伝えたのに、何もできなかったという後悔を強く持っていて、自分達が動かないといけないという意識を強く持っています。学校だけの問題ではなく、家庭や地域あるいは子ども達自身が二度と繰り返さないために、自らの意思で考え動くことの大切さを感じました。

橋本委員長

そういう発想がとても大切です。最近、愛知県一宮市の校長会に行きました。人口 39 万人、学校は 61 校ありますが、3 年間で 3 分の 2 の校長先生が変わったことにより、危機意識が低下してしまいました。岐阜県でも人事異動がありますが、この事案を踏まえ、県内の共通意識を持って未然防止に繋げていくことが大切です。

四衢委員

知らない内容がたくさんあり勉強になりました。岐阜市の事案への質問ですが、担任が動かなかった理由として、先生の感性に問題があり動かなかったのか、学校が非常に難しい状況にあり動けなかったのか気になっています。実際、高山市の先生方もよくやってみえ苦勞されているので、担任の先生に動けるだけのエネルギーがあったのかどうか、またその先生をエンパワーメントするようなものが不足していたのではないかと思われませんがいかがでしょうか。

橋本委員長

教師の多忙化という問題を全体的に指摘をしています。生徒指導官の受け持ち授業を無くして、加配で 1 名増やすことが効果的であると思います。教師の感性を問うご質問には、さまざまな見方がありますが、私がお会いした先生の中においては、こういった事案に避けて向かう人はいません。ちゃんとやろうとしているけど、いじめなのかふざけなのか迷う人がいます。感性を高く持ち、見抜ける力を付けることが必要なのですが、国の基本方針においても、迷ったら組織に繋ぐと示されており、今回の事案も組織に繋ぐことが出来たら少しは動けたらと思います。

目加田委員

今年に入り、実はその中学校の先生が継続して私を訪ねてみえています。話をする中で、別の角度から見えてきたことは、その学校は夜遅くまで電気が付き、多忙であることは当たり前で、先生方の将来を決めていくというような特殊な学校のようなようです。その先生は、事件の衝撃、調査の後処理で疲れていますが、起こるべくして起こってしまった事件だというその先生の言葉に、私自身もそう感じました。

橋本委員長

先生や生徒のフォローアップを実施していますが、概ね生徒向けです。先生へのカウンセリングも重要ですし、心を和らげられるような仕組みの充実についても提案を行っています。多忙化解消については県のレベルアップにも繋がりますので悪いとは思っていませんが、県内異動等をうまく活用して多忙化する先生方への負担を防ぐことも可能かと思われます。

鈴木委員

生徒同士、先生と生徒、あるいは先生同士の関係の中で相互理解を図り、全体を見る視点が足りないと感じています。迷った時に組織に繋がられる関係であれば良いのですが、なかなかそのような状況が作りにくいこともあるため、今後考えた方が良いかと感じています。親と子の関係や家庭の問題も大きなベースにあるのですが、今の時代においてどうすべきか難しい問題ではありますが重要な視点だと思います。

武藤委員から自分のこととして捉えるという視点でのお話がありましたが、何をやっても聞かない人に対し、どう意識付けしていくかを考えていくことも必要だと感じました。

橋本委員長

関係性の問題ですが、いじめに関する子どものメモは繋がらず、アンケートについては校長まで繋がったけれど、組織として動けなかったことを指摘しました。家庭の問題については大変難しい問題です。可児市の駅前に0歳から20歳までの子どもに関する部署を集約した「マーノ」という施設があり、そこに行けばその子に応じた家庭への支援が整っている施設です。そういった教育面や医療面でのケアが重要だと思います。

企画部長

資料3の14ページ「学年別のいじめ認知件数」において、小学校一年生でも75,000件と多いのですが、保育園幼稚園の年齢のときから続いていることが想定されます。就学前の年齢に対し、行政や福祉関係機関がどのように関わっていくべきかと考えました。就学前の子ども達や保護者の困り感を、行政機関にダイレクトに伝えられる信頼関係が非常に大切だと感じましたが、ご意見ご指導等お願いします。

鈴木委員

発達の9～10歳の壁というものがあり、その前の年齢は自分勝手に主張していることがいじめになっている場合があります。発達の場と故意でやっている場合を、一般的ないじめとして捉えて、幼い段階から全てを押さえつけてしまうことになり、大変難しいと思いますがいかがでしょうか。

橋本委員長

私が周っている学校では分けて捉えています。いじめの認知件数は最終的には学校長から教育委員会を通り選別されて提出されているので、見分けが付きやすいものしか出てきていないことが多いです。中学生のいじめの対応とはやはり違います。0歳から5歳児までにもトラブルは多くある為、人間関係やコミュニケーションを育むことを重要とすることで、いじめの未然防止に繋がると思います。

四衢委員

いじめの問題と虐待の問題、発達の問題と非常に類似性が高いと改めて思いました。幼い年齢からの育てていくという視点が、より重要で将来的な防止に繋がると感じました。0歳から2歳の保育が大変重要で自己肯定感を高める取組みを行っていますが、発達に問題がある場合、親の気持ちを汲みながら療育に繋いでいくことが非常に難しいと感じています。行政でより積極的にやってもらえると、将来的にはこのいじめ問題が良い形で繋がると思いました。

子育て支援課長

市の乳幼児健診の際に、保健師が見立てを行い、療育に繋げる活動を行っています。小さな子ども達には多動性の子も多く、子ども達が困り感を抱かないよう自己肯定感を高めるための保育士の研修等に力を入れて取り組んでいます。来年度から、市に子育て世帯包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期までの妊婦さんや子ども達を重点的に支援していく仕組みを立ち上げます。核家族で家族の形が縮小していく中で、子育てに悩むお母さんもたくさん見えるので、子育てを孤立させないようなサポートを実施してまいります

(1) 高山市におけるいじめ等の状況について

橋本委員長

これより個人情報保護のため非公開といたします。

委員

了承

(以下、非公開)

- ・児童生徒等の状況報告について 資料1-1・資料1-2
(教育長より説明)

橋本委員長

これより公開いたします。

学校教育課長

- ・いじめ問題の実態について 資料2
(学校教育課長より説明)

(質疑)

武藤委員

子ども達は生まれた時から、ネットやスマホが普通にある環境で、それを使いこなしている世代です。いい意味でも悪い意味でもネット情報に過度に信頼を置く傾向にあります。実際ネットの中に埋もれてる情報には、役に立つものもあれば、フェイクもあるため、なぜそうなのかという情報の根幹を考え見分ける力が非常に大切になります。これは決してネットモラルだけの問題ではなく、全ての教育活動において、なぜそうなるのか、どうしてそう関連するのか、他の人はどういう根拠で自分と何が違いどうするべきなのか、日頃のあらゆる事象の中で考え、積み重ねることがこういう場面にも生きてくると常々考えています。どうしても新しい問題があると何か新しく変わったことを考える傾向がありますが、必ずしもそうでなく、今までやっていることを確認し、取組んでいくことが問題解決に重要であると考えますので、今後も意識して取り組んでいただけるとありがたいです。

橋本委員長

判断力の弱さが被害者となることにつながってしまいます。もう少し考える力がつけば、それを止められたため、教育が重要となってきます。幼い頃から自分で考えて行動する中で、困った時にはどこにヘルプを出すか、出せるかが重要です。高山市のいじめの認知件数もかなり増えていますので、どう対応していくかが大きな課題と思います。

○閉会